

気仙沼市震災遺構（旧気仙沼向洋高校）保存整備に係る調査

## 機能の展開案

平成 26 年 12 月 25 日

株式会社 丹青社

【資料3】<旧気仙沼向洋高校>の機能の展開案

凡例	◎:良好な環境で展開可能	△:条件付きで展開可能	※:付属施設で実施
	○:展開可能	×:撤去のため展開不可能	—:非公開

No.	機能	内容(案)	所要スペース	活用策(案)						展開(案)		要検討事項(案)	
				A案	B案	B'案	C案	D案	E案	南校舎の公開活用を行わない (A、B、C、D、E案)	南校舎の一部公開活用を行う (B'案)		
1	震災遺構保存/公開	震災遺構①: 南校舎4F外壁	(南校舎4F外観)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	・南棟外観の現状保存。 ・校章と合わせ、象徴的なものとする。	・経年による落下防止等の対策。	
2		震災遺構②: 途中までさびた戸棚	(南校舎4F教室内)	—	—	○	—	—	—	—	・現状保存。 ・現状保存を基本としながら、見学用回廊を設置し、見学者の安全確保に留意して公開活用を行う。		
3		震災遺構③: 教室の中の車	(南校舎3F教室内)	—	—	○	—	—	—	—	・現状保存。 ・現状保存を基本としながら、見学用回廊を設置し、見学者の安全確保に留意して公開活用を行う。	・公開範囲の設定。	
4		震災遺構④: 渡り廊下	(北校舎-総合実習棟の西側渡り廊下)		○	○	○	○	○	×	・現状保存。 ・複数の車両を中心に挟まれている部分全体を現状保存。 ・対象部分を中心にガラスルームを増築し、見学者の安全確保と公開を両立させる。	・公開範囲の設定。 ・換気対策(密閉は避ける)。	
5		震災遺構⑤: 倒れた石碑	(南校舎西側屋外)		○	○	○	○	○	○	・現状保存。 ・石碑の現状保存。 ・AR技術を活用した補完ツール等で震災前の様子を紹介する。		
6		震災遺構⑥: 体育館入り口	(体育館)		別途検討						・現状保存。 ・体育館入り口部分のみ現状保存。 ・AR技術を活用した補完ツール等で震災前の様子を紹介する。	・AR等のベースになるデータの早めの収集(現状変更前に)。	
7		震災遺構⑦: 生徒会館前の倒石	(生徒会館前)		別途検討						・現状保存。 ・石碑の現状保存。 ・AR技術を活用した補完ツール等で震災前の様子を紹介する。		
8		展示	基本展示	「3.11気仙沼向洋高校」	展示室1	◎							・3.11の前後の向洋高校の姿の紹介(写真、グラフィックパネル等)。遺構としての教室の中に、在りし日の姿をおりまぜて紹介。 ・水産高校である向洋高校が“海に向かって”めざしてきたものを紹介(震災遺構としてのみならず、海の幸豊かなまちの高校として)。
9	「3.11気仙沼ドキュメント」			展示室2	◎	○	○	○	○			・3.11の気仙沼市の記録(写真、国内外の新聞等の記事等)、記憶(気仙沼市民、向洋高校生、先生、ボランティア等の言葉カード等)を紹介。	
10	映像コーナー				◎							・3.11の報道映像のほか、個人が撮影した映像等を時系列で編集し、複数のタブレット端末等で紹介。	・報道映像の権利対応。 ・個人撮影映像の肖像権等の権利対応。
11	「復興の道のり」			展示室3	◎						※	・2011年3月11日から「いま」までの復興の歩みを随時紹介(パネル、映像等)。 ・市民に復興の最新の状況を伝える拠点とするとともに、来訪者に対して復興の有り様、技術、ノウハウ等を紹介する。	・展示計画の検討。 ・展示資料の整理、収蔵体制の明確化。 ・他施設との連携体制の構築。
12	「くりかえさないために」				◎	○	○	○	○			・防災・減災の知恵と技術、取り組みを紹介(パネル、映像等)。	
13	「世界の被災地と復興」			展示室4	◎							・世界の津波・地震被災地の情報と復興の状況について紹介。 ・災害時の国際的な援助、3.11の際の国際的援助について紹介。	
14	「TSUNAMI」			展示室5	◎							・地震と津波が起こる仕組み、被害が拡大する仕組み等を科学的な視点から地球規模で紹介。	
15	「気仙沼と津波の歴史」			展示室6	◎	○	○	○	○			・気仙沼における津波の歴史について、津波及び被害の規模、その度ごとの復興の姿、先人たちが伝えてきたことを紹介。	
16	「海と生きる —気仙沼と海—」	展示室7	◎	○	○	○	○			・気仙沼の海の魅力、“海と生きる”気仙沼の魅力を紹介。			
17	企画展示	企画展示	企画展示室	◎	◎	◎	△	◎	※	・特定のテーマに基づく期間を設定しての展示。	・他施設、他自治体等の所蔵資料借用を想定した空間・設備の整備を要する。		
18	展望ルーム		南校舎4F教室内	—	—	△	—	—	—	・上記震災遺構②の公開とあわせ、当該教室を「展望ルーム」として位置づける。海の眺めとともに、塩田であった地域の歴史、3.11における津波の威力(押し寄せる様子等)を紹介する。	・4Fの2方向避難経路の確認を要する。 ・屋上の公開は行わず、当該教室で展望ポイントを整備する。		

No.	機能	内容(案)	所要スペース	活用策(案)						展開(案)	要検討事項(案)		
				A案	B案	B'案	C案	D案	E案				
19	教育・普及	「3.11語り伝え」プログラム	多目的室～全体							※	・階上地区の方など、被災された方による3.11の記憶の語り伝えを行うプログラム。 ・語り伝えは高校全体を活用。事前レクチャーの場として多目的室等のスペースを活用する。		
20		ワークショップ	防災ワークショップ	多目的室	○	○	○	○	○		・「再び津波に襲われたら」という想定で、具体的なアクションを考え、行動指針等を検証するワークショップ。消防関係者等の専門的な知見を有する人材を交えて行う。 ・気仙沼市外からの来訪者の参加も促進する。		
21			こども向け体験型プログラムの実施	多目的室								・紙芝居、防災の知識をクイズ形式で学ぶゲーム等、楽しみながら学べるこども向けプログラム。	
22		情報	ライブラリー	ライブラリー	○	○	○	○	○		※	・防災教育に役立つ書籍や絵本、3.11に関連する書籍、海に関連する書籍、気仙沼の地域の歴史や文化等に関する書籍等。	
23		防災教育	講座・研修会	講座室	◎	○	○	○	○			・防災教育に関する講座や研修会等。	
24	防災教育	講演会・シンポジウム	多目的ホール	○	○	○	○	×			・防災教育や震災復興等に関する講演会、シンポジウム等。		
25	研究活動支援	研究活動支援オフィス	オフィス	◎	○	○	○	○			・気仙沼で地震や津波等の学術的研究を行っている大学等の研究活動を支援するためのスペース。気仙沼での研究活動拠点を提供すると共に、市民や来館者に対する研究活動の成果の普及の促進を図る。	・LAN設備等を要する。	
26	まちづくり	物販	気仙沼の地域特産品等の販売	ショップ	○	○	○	○	○		※	・気仙沼の海の魅力を伝える地域特産品の販売。 ・常設のショップのほか、イベント的な「市」として展開。(展開する場合は、プロムナードを使用する。)	・生鮮品を扱う場合は専用の設備を要する。
27		飲食	気仙沼スローフードの提供	レストラン	○	○	○	○	○			・気仙沼の海の魅力(食)、スローフードを紹介する。	・厨房設備を要する。
28	交流	シンボルルーム	「航海計器室」		◎	◎	◎	×	×	×		・旧気仙沼向洋高校を象徴する「教室」として航海計器室をシンボリックに公開展示し、水産高校としての人材育成の志、海への視線等を紹介するとともに、様々な人々が語り合うことができるスペースとする。	
29		交流促進空間創出	メモリアルルーム	記念教室	◎	○	○	×	×	×		・3.11当時の在校生、卒業生、関係者による、黒板、床、壁に残すメッセージ。	
30			レストルーム	休憩スペース	◎	◎	◎	○	○		※	・訪れた誰もが気軽に利用できる無料の休憩スペース。 ・団体バス運転手等の待機場所等としても活用。	・駐車場からの動線に配慮を要する。
31			プロムナード	屋外	◎	◎	◎	◎	◎			・誰でも気軽に利用できる周辺案内情報を提供。 ・イベント的な「市」を展開するスペースとして活用。	・新築するか、既存建築を活用するか検討を要する。
32		交流促進空間活用	震災遺構ガイド	遺構全体	○	○	◎	○	○	○		・旧気仙沼向洋高校の震災遺構の案内。被災前の状況、3.11当日の状況、遺構の状況等について紹介。	・向洋高校関係者あるいは関係者から情報を聞き取り、ガイドプログラムを構築。
33		復興イベント	屋外	○	○	○	○	○	○		・屋外スペースを活用した交流促進のためのイベント。		
34	その他	震災漂着物保存	震災漂着物の保存・公開・返却	「記憶預かり所」	○	○	○	○	○	※	・震災漂着物を保存、公開し、確認された所有者に返却を行う。 ・収蔵庫保存ではなく、教室等における自然保存とする。	・管理体制の構築を要する。	

No.	機能	必要と考えられる諸室(案)	活用策(案)					内容(案)	備考	
			A案	B案	B'案	C案	D案			E案
35	事務管理	事務室	◎	◎	○	◎	○	※	・管理者が事務を行うスペース。 ・放送設備等を備えておくことが望ましい。	
36		ミーティングスペース	◎	◎	○	◎	○		・運営にあたっての諸ミーティングを行うためのスペース。	
37		倉庫	◎	◎	○	◎	○		・印刷物、備品等を保管するためのスペース。	
38		講師等控え室	○	○	○	△	△		・講師等の活動の関係者の待機スペース。	
39	管理 共用	エントランス	◎	△	△	◎	○	※		・B案の場合、来館者／管理者用E Vがそれぞれ必要となる可能性有 り。
40		トイレ	○	○	○	○	○		・男女、多目的。各階に整備。	・既存トイレの修復利用。
41		エレベーター	○	○	○	○	○		・来館者／管理者利用を想定。	・全体での来館者／管理者動線を 踏まえて配置場所を検討。
42		多目的ルーム(授乳等)	○	△	△	△	△			
43		ロッカー	○	○	○	○	○			
44	展示準備	展示前室	○	○	○	○	○	※	・展示替え等のための準備スペース。	
45		搬入スペース	○	○	○	○	○		・資料等の搬入・搬出を行うためのスペース。 ・4tトラック(想定)が入るトラックヤードと荷解・梱包のためのスペース。	・トラックヤードは一部増築を検討す る必要がある。
46		資料保管スペース	○	○	○	○	△		・展示、普及活動等に活用する資料の保管を行う。 ・一時保管を前提とし、収蔵スペースとは位置づけない。	・資料の「所有」「保管」のあり方の明 確化を要する。
47		部材保管スペース	○	○	○	○			・展示替え等で一時的に使用しないケース等の什器や備品等の保管スペース。	